市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	うまんちゅ健康文化交流広場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

市民の健康づくりを推進することによって健康長寿地域としてのイメージ発信に繋げるとともに、地域における伝統芸能･文化の継承活動と交流･体験の場として、交流広場の整備を実施する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	108,436	－	74,625	－	
	(b)予算現額	108,436	－	74,625	－	
	(c)増減額(b-a)	0	－	0	－	
	(d)繰越額	－	101,527	－	62,353	
	A．計(b+d)	108,436	101,527	74,625	62,353	
B．執行済額		6,909	101,527	12,272	54,282	
うち交付金充当額		5,527	81,221	9,817	43,425	
次年度繰越額		101,527	－	62,353	－	
執行率（%）(B/A)		6.4%	100.0%	16.4%	87.1%	

予算の状況の説明

工事着手後、現地土質の特性により想定外の粉塵が発生し、地元住民の負担を避けるため、現場対策(散水等)に不測の日数を要した。さらに、水はけが悪く雨天後、数日間も施行できない日が続いたため工事全体に影響が生じたことにより、繰越事業となった。
また、不用額が発生しているが、工事の入札残及び事業完了時に支出等の内容について精査したことによる残額であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
うまんちゅ健康文化交流広場整備に係る整備の実施	目　標	（実施設計等の実施）	（整備工事の実施）	（　）	（　）
	実　績	実施設計等の実施	整備工事の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

･うまんちゅ健康文化交流広場整備として、H24年度に実施した実施設計をもとに、敷地造成工･園路広場工･休養施設工･遊戯施設工･管理施設工及び便所･東屋等の整備工事を実施し完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
うまんちゅ健康文化交流広場整備に係る整備の実施	目　標	（　）	（実施設計等の実施）	（整備工事の実施）	（　）	（　）
	実　績		実施設計等の実施	整備工事の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

･うまんちゅ健康文化交流広場整備として、H24年度に実施した実施設計をもとに、敷地造成工･園路広場工･休養施設工･遊戯施設工･管理施設工及び便所･東屋等の整備工事を実施し完了した。
･事業完了後は、ウォーキングや保育園児及び児童が集う場所となっており、今後は、地域の伝統文化の交流場所として提供される。

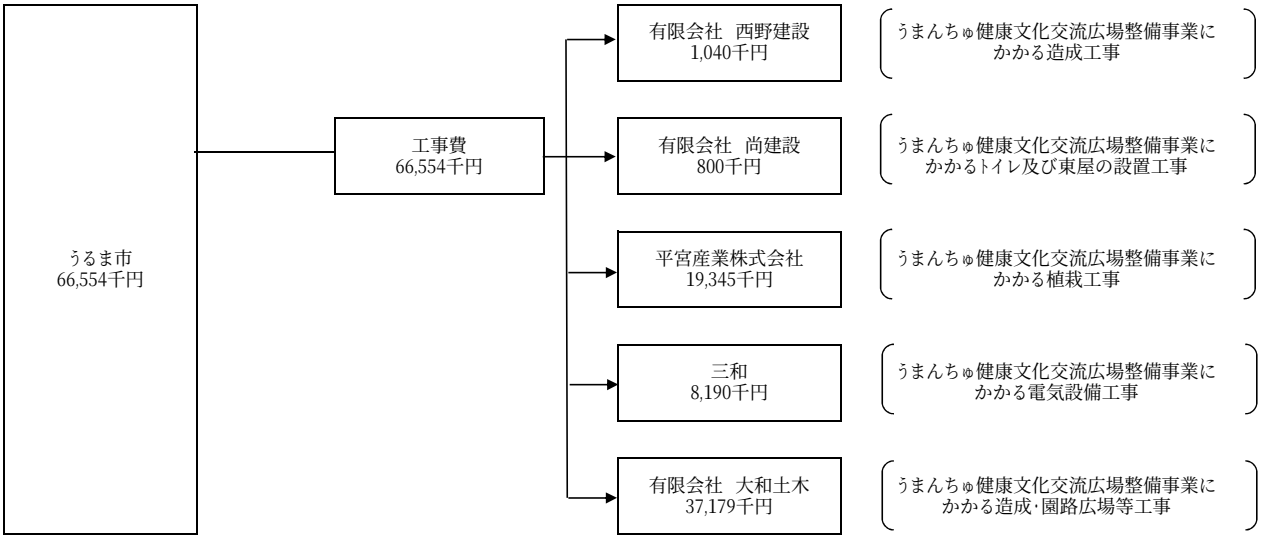
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・市民の健康づくり、地域文化の継承の場所として計画した交流広場に、敷地造成工・園路広場工・休養施設工・遊戯施設工・管理施設工及び便所・東屋等の整備工事を実施した。 ・工事着手後に、現地土質の特性により想定外の粉塵が発生し、地域住民へ影響がでたため現場対策等に日数を要し工期の遅れが生じる事となった。	・地域住民の生活や安全等に考慮した整備に努める必要がある。 ・設計時から土質や地域特性を考慮した工事を計画し、工期等についても余裕をもった計画を実施していく必要がある。

今後の取り組み方針

・供用開始後、地域と連携し「市民の健康づくりを推進することによって健康長寿地域としてのイメージ発信に繋げるとともに、地域における伝統芸能・文化の継承活動と交流・体験の場」として、具体的なイベントや管理等を調整していく。
・類似整備の実施の時は、設計時から土質や地域特性を考慮し、余裕を持った工期・対策等を検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
66,554	66,554	53,242	13,312	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であると考えている。 ○入札により不用額が発生したが、事業内容は適正に実施された。 ○事業目的達成の観点より予算を執行しており、適正であり、妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	生涯学習･文化振興拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	教育部　生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成２４年～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウスデーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化･行事が残されている。それらは、「うるま市ならでは」の地域資源であり、文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備し、世界遺産勝連城跡を中心に、文化の薫るまちづくりを推進する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	474,645	－	128,801	-	
	(b)予算現額	487,911	－	226,832	-	
	(c)増減額(b-a)	13,266	－	98,031	-	
	(d)繰越額	－	465,612		213,730	
	A. 計(b+d)	487,911	465,612	226,832	213,730	
B. 執行済額		22,134	395,565	4,676	150,627	
うち交付金充当額		17,707	312,638	3,741	120,501	
次年度繰越額		465,612	－	213,730	－	
執行率（%）(B/A)		4.5%	85.0%	2.1%	70.5%	

予算の状況の説明

用地交渉に伴い、地権者との調整に不測の日数を要した。予定していた用地が一部買収できなくなったことから、実施設計の変更が必要になり、造成工事の施工に遅れが生じ繰越となった。
繰越事業についての、不用額は工事請負費の入札残によるものである。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
生涯学習･文化振興拠点施設の建設着手(擁壁工事、敷地造成)	目　標	(実施設計 用地買収)	(擁壁工事 土地造成)	( )	( )
	実　績	用地取得 9934.54㎡	磁気探査 土地造成 13,900㎡		
	目　標		( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明

地主との調整に時間を要し、取得土地の変更に合わせた実施設計が完了した。土地造成については、用地取得の遅れにより繰り越したが平成26年度に完了した。
今後は、平成27年度本体建設工事発注、完了予定(延べ床面積3, 931.11㎡)、平成28年度駐車場等の外構工事発予定

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
生涯学習･文化振興拠点施設の建設着手(擁壁工事、敷地造成の完了)	目　標	( )	(実施設計･用地買収等)	(擁壁工事、敷地造成)	( )	( )
	実　績		実施設計の完了 用地買収等の完了	擁壁工事 敷地造成の完了		
	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明

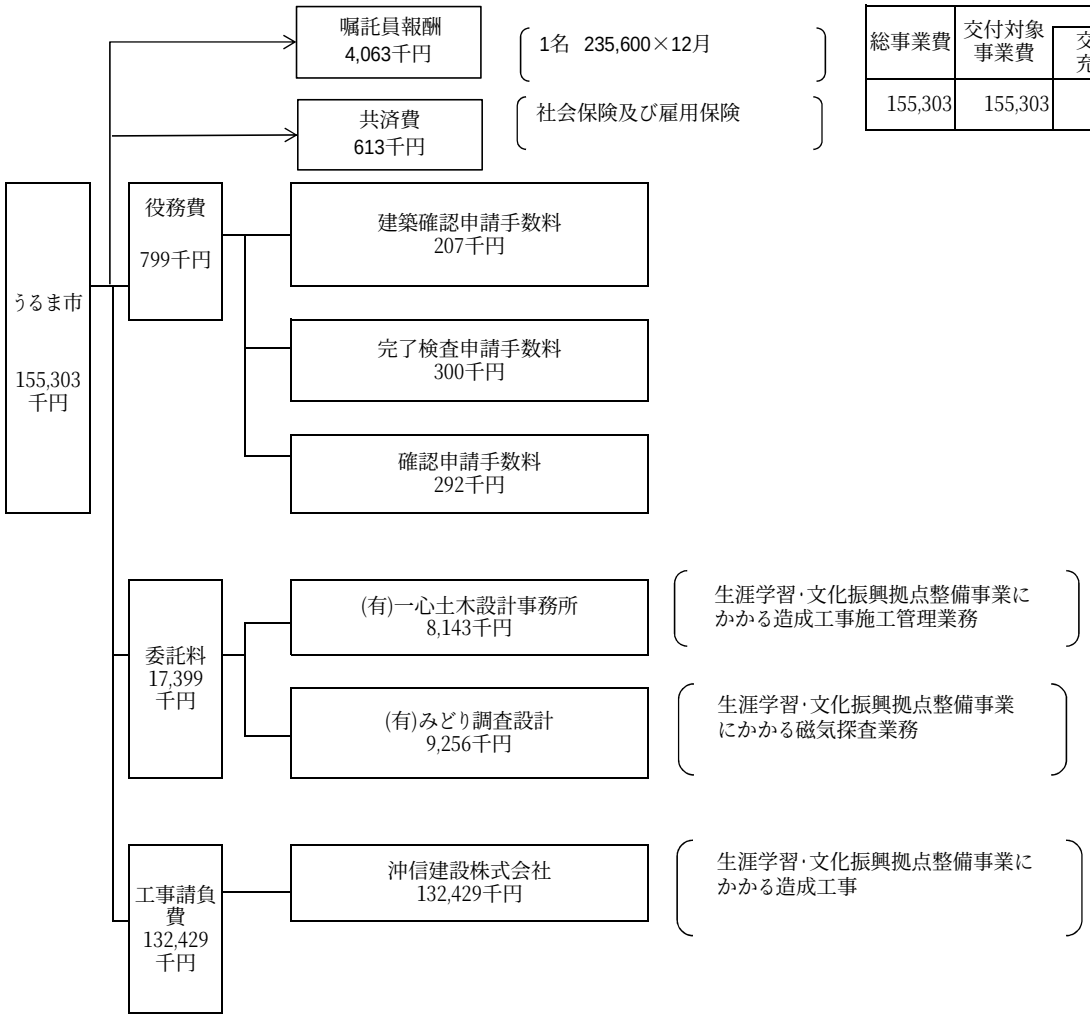
繰越により、事業年度の遅れはあるが、用地取得及び用地造成工事が終了し、建設位置等の検討を行い、建設工事実施への目処がたった。今後は、平成27年度に本体工事実施、平成28年度に内部及び外溝等の工事を実施し、平成29年度供用開始予定。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成24年度に予定していた起業地の地主の承諾が得られなかったことや、遺産相続が発生し、交渉相手が増加したことで時間がかかり、平成25年度に繰り越した。 予定地の一部は地主の意向（当分の間、継続して農業を営みたいとしていたが、後に子ども達に宅地として提供するために残しておきたいとのこと）により購入できなかった。(取得できなかった面積941.29㎡) 一部購入出来なかった土地により、進入路の変更が生じた為、設計の変更が発生した。	前年度からの起業地の買収交渉を進め、用地を購入できた(取得面積9,934.54㎡)。 用地取得面積の変更が生じているが、建設位置の配置等を見直すことにより事業に支障が出ないように、調整できた。

今後の取り組み方針

平成26年度起業地の造成、平成27年度建築工事（延べ床面積3, 931.11㎡）、28年度外構工事(駐車場等の整備、延べ面積12, 687.93㎡）を行い平成29年度供用を開始し、市内の文化・芸能団体のエイサーや現代版「きむたかの阿麻和利」練習場所などとして活用。コモンズ（共有活用スペース）や音楽室、研修室、中ホール、展示スペース等の活用をＰＲし、文化協会などの市内外の各種団体の施設利用を図ると共に、沖展移動展示会の開催や、青年エイサーの夕べミニの開催等イベントを催し、うるま市伝統芸能の拠点として発信することにより、観光客誘致を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）



総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
155,303	155,303	124,242	31,061	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者並びに造成工事業者の指名は、市の業者指名委員会に諮り選定しており、妥当である。 ○入札により不用額が発生したが、事業内容は適正に実施された。 ○経費の積算については、公共工事等の基準単価に基づき積算しており適正である。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-③	市内文化財総合整備調査活用事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（４）－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	教育部　文化課	事業実施（予定）年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容	文化の薫り高いまちづくり推進のために、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。また、その整備と調査を基に活用事業を実施し、市民に対して歴史遺産への愛着心を醸成し、市民自身が歴史遺産を再評価できる環境の構築に取り組む。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	25年度（繰越）	26年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,000	－	24,365	－	
	(b)予算現額	29,192	－	29,885	－	
	(c)増減額(b-a)	▲ 808	－	5,520	－	
	(d)繰越額	－	12,325	－	12,670	
	A．計(b+d)	29,192	12,325	29,885	12,670	
B．執行済額		16,840	12,325	17,214	12,258	
うち交付金充当額		13,472	9,860	13,771	9,806	
次年度繰越額		12,325	－	12,670	－	
執行率（%）（B/A）		57.7%	100.0%	57.6%	96.7%	
予算の状況の説明		補正増となっているのは、当初予算要求額の見直しによるものである。6月補正予算可決後に執行しており、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。また、環境整備箇所において、改修部材の選定や改修規模等についての、地元等との調整、及び竪穴式住居の屋根葺きの修復に適した、資材の確保に不測の日数を要したため、一部予算を繰越して執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・勝連城跡整備基本計画の中間報告の作成	目　標	（　）	（中間報告の作成）	（　）	（　）
	実　績		1式		
・市内文化財環境整備	目　標	（　）	（3箇所）	（　）	（　）
	実　績		3箇所		
・平敷屋トウバル出土品レプリカ制作	目　標	（　）	（1点）	（　）	（　）
	実　績		1点		

達成状況説明	勝連城跡整備基本計画中間報告の作成、市内文化財の環境整備及び平敷屋トウバル出土品レプリカの制作を実施しており、文化財の保存、活用に向けて必要な成果が得られた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・勝連城跡整備基本計画の中間報告の作成	目　標	（　）	（　）	（中間報告の作成）		（　）
	実　績			1式		
・市内文化財環境整備	目　標	（　）	（　）	（3箇所）		（　）
	実　績			3箇所		
・平敷屋トウバル出土品レプリカ制作	目　標	（　）	（　）	（1点）		（　）
	実　績			1点		

進捗状況説明	平成２５年度の取り組みは以下のとおりである。 ①勝連城跡整備基本計画を策定に向けて、中間報告書をまとめた。 ②石川部落事務所、伊計グスク、仲原遺跡の環境整備を実施して、利用又は活用しやすい環境を整えた。 ③平敷屋トウバル遺跡の線刻画石柱のレプリカを作成して、出土品の活用を図った。

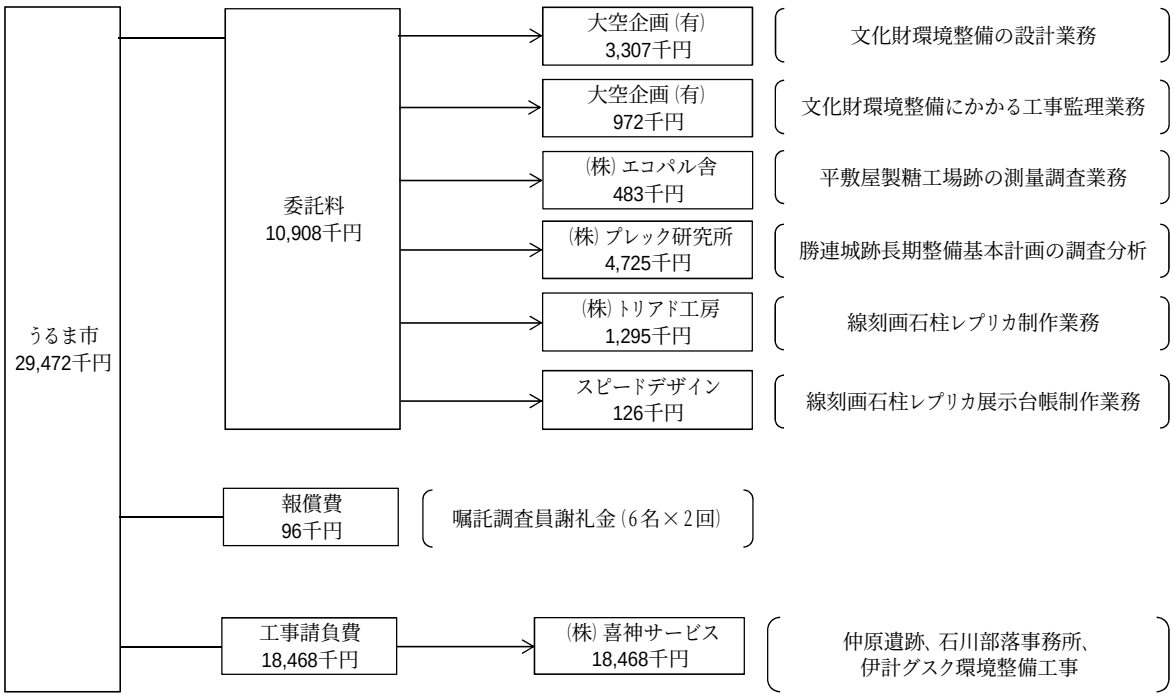
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①勝連城跡整備基本計画策定においては、計画策定の目的、位置づけ、範囲、進め方、概要、遺産の価値、整備上の課題、基本方針等について中間報告書にとりまとめた。今後は、本計画策定にあたり、地域住民へ周知し、整備における課題を抽出していく必要がある。 ②保存整備では、特殊な材料が必要となったため、工事の遅れが生じた。	①地域住民へ周知して遺産の価値について理解してもらう。また整備に関する課題を抽出していくことで、保存、整備、活用に関するニーズを把握し計画に反映する。その他、各地域の史跡整備の事例を収集し本計画にまとめ整備に活かすことで国内外を問わず多くの来場者が見込める。 ②特殊な材料がある場合はあらかじめ調査を実施して、材料確保に努める必要がある。

今後の取り組み方針

①勝連城跡整備基本計画については、勝連城跡のシンポジウム等を実施して地域住民に周知する。
②特殊な材料がある場合は、あらかじめ調査を実施して、事業期間内の完了を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,472	29,472	23,577	5,895	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識、文化財保護法に基づく整理・調査経験等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の決定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑫	文化財標柱等設置事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（５）－ア 文化資源を活用したまちづくり
担当部課名	教育部　文化課	事業実施（予定）年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）
事業内容	市内の文化財･旧跡等に標柱等を設置し、市民･観光客が広く活用しやすい環境を作る。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	25年度（繰越）	26年度
予算の状況	(a)当初予算額	20,000	－	10,584	－	
	(b)予算現額	20,000	－	19,884	－	
	(c)増減額(b-a)	0	－	9,300	－	
	(d)繰越額	－	20,000	－	11,491	
	A．計(b+d)	20,000	20,000	19,884	11,491	
B．執行済額		0	19,763	8,391	10,296	
うち交付金充当額		0	15,810	6,713	8,237	
次年度繰越額		20,000	－	11,491	－	
執行率（%）(B/A)		0.0%	98.8%	42.2%	89.6%	

予算の状況の説明：補正増となっているのは、当初予算要求額の見直しによるものである。6月補正予算可決後に執行しており、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。また、標柱等の設置場所の地権者との調整、標柱及び説明版の文言について、有識者や自治会からの変更に伴う調整が重なり不測の日数を要したことから、一部予算を繰越して執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
文化財標柱等設置数	目　標	（35箇所）	（35箇所）	（　）	（　）
	実　績	40箇所	41箇所		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内の文化財･旧跡等に標柱、案内板、説明板を設置したことで、文化財の名称や案内、概要説明などの情報提供につながった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
文化財標柱等設置数	目　標	（　）	（35箇所）	（35箇所）	（　）	（　）
	実　績		40箇所	41箇所		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内の文化財･旧跡等に標柱、誘導板、説明板を設置した。
- ･標柱　３１箇所
- ･誘導板　４箇所
- ･説明板　６箇所

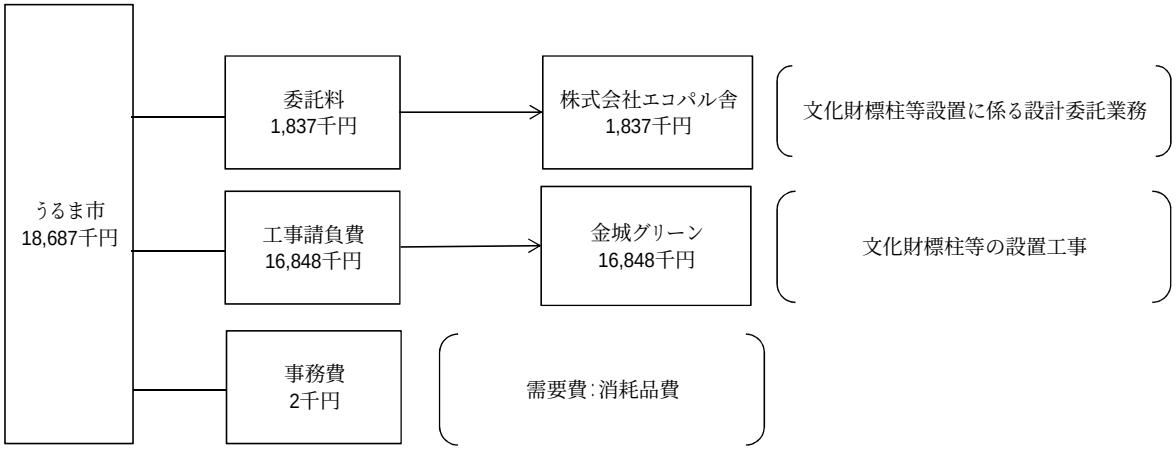
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成２５年度までに９自治会に計８１基のサインを設置しており、文化財の案内や説明などが容易になった。 事業執行については、地権者との調整や説明板の内容調整に時間を要したため、事業の完了に遅れが生じた。	設置箇所の確認、地権者の同意取得、説明板の内容確認、施設管理者の許可取得など、関係機関との調整に多くの時間を要するため、説明板の内容についてはあらかじめ、自治会の協力を得る必要がある。

今後の取り組み方針

自治会等関係機関との連携を密にして、意見の集約や取りまとめを早めに実施することで、事業期間内の完了を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,687	18,687	14,950	3,737	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務及び、工事請負は、指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の決定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-②	伊計海岸周辺環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部　土木課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	伊計海岸西側付近の砂浜は、当市の貴重な観光財産であるが、台風等の高波による砂浜の侵食が進行しており、砂浜と後背地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するため、自然石被覆護岸を整備する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
予算の状況	(a)当初予算額	28,000	－	8,500	－	
	(b)予算現額	28,000	－	8,500	－	
	(c)増減額(b-a)	0	－	0	－	
	(d)繰越額	－	26,404	－	5,359	
	A．計(b+d)	28,000	26,404	8,500	5,359	
B．執行済額		1,596	25,074	3,141	5,358	
うち交付金充当額		1,276	20,060	2,512	4,287	
次年度繰越額		26,404	5,359	5,359	－	
執行率（%）(B/A)		5.7%	95.0%	37.0%	100.0%	
予算の状況の説明		前年度(平成24年度)事業が、台風や高波等の影響により不測の日数を要し、完了が平成25年度末となったため、前年度事業からの引き続き工事である本年度事業も予算を繰越しして実施した。 現地地盤との擦り付けを行うために、工事延長が9.0m増となったが、既設構造物を有効的に利用することで、予算内で工事完了できた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
自然石被覆護岸工事の実施(整備状況　高さ3.0m　延長35.0m)	目　標	工事の実施(高さ3.0m　延長70.0m)	工事の実施(高さ3.0m　延長35.0m)	(　)	(　)
	実　績	工事の実施(高さ3.0m　延長50.0m)	工事の実施(高さ3.0m　延長52.0m)		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：直立式護岸L=34.0m、L型擁壁再設置工L=18.0m、施工延長計L=52.0mの工事を実施した。現地地盤高さに合わせた擦り付けを行い工事を完成させたため、当初の計画延長が9.0m延長したが、前年度分の工事と合わせて、一体となった自然石被覆護岸を構築できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
自然石被覆護岸工事の完了(整備状況　高さ3.0m　延長35.0m)	目　標	(　)	工事の実施(高さ3.0m 延長70.0m)	工事の完了(高さ3.0m 延長35.0m)	(　)	(　)
	実　績		工事の実施(高さ3.0m 延長50.0m)	工事の完了(高さ3.0m 延長52.0m)		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度繰越工事が、台風や波浪の影響を受けたため、本年度の工事も繰越となったが、3か月の工期で完了することができた。これにより、本事業は完了し、海岸周辺の環境にマッチした土地利用ができると考える。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	自然石被覆護岸を構築したことにより、台風によって浸食された背後地を復元でき、ビーチとして広く利用される環境整備ができた。 自然石を用いた護岸構築であることから、海岸周辺の環境に溶け込んだ景観になっている。	ビーチ内の砂がどのような形で留まるのか(あるいは流出するのか)がはっきりわからなかったが、工事完成から1年が経過したところ、季節による砂の移動はみられたが、護岸構築による大きな流出等は確認されなかった。

今後の取り組み方針

今回整備した護岸を含む砂浜と背後地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するために維持管理を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,499	8,499	6,799	1,700	0

うるま市
8,499千円

→ 工事請負費
8,499千円

→ 有限会社
崎原建設
8,499千円

（自然石被覆護岸の整備にかかる
周辺環境整備工事）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○今年度の工事は、前工事からの引き続きの工事であり、工事内容、施工性ともに密接不可分の関係であることから、前工事施工業者と随意契約を行ったが、諸経費を節減した予定価格を設定することにより、競争入札と同等か安価な金額で契約締結できた。 ○適正な予算規模の実施となっている。 ○費目、使途については工事完了検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8	農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（7）－イ 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興
担当部課名	経済部　農政課	事業実施（予定）年度	平成２４年～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（6）

事業内容

当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を発揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工･流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	25年度（繰越）	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	19,017	602,251	－		
	(b)予算現額	18,725	458,560	－		
	(c)増減額(b-a)	▲ 292	▲ 143,691	－		
	(d)繰越額	－	－	449,641		
	A．計(b+d)	18,725	458,560	449,641		
B．執行済額		18,119	5,427	442,679		
うち交付金充当額		14,495	4,342	354,143		
次年度繰越額		－	449,641	－		
執行率（%）（B/A）		96.8%	1.2%	98.5%		
予算の状況の説明		用地･物件補償対象地の農振農用地除外手続きや市民参画による基本設計の策定業務に相当な期間を要し、平成25年度内での完了が困難であったため、翌年度へ基本設計業務委託料及び用地･物件補償費、事務費等449,641千円を繰越し442,679千円を執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
基本設計業務	目　標	（　）	（基本設計策定）	（　）	（　）
	実　績		基本設計策定		
施設運営体（人材）の発掘･育成及び地元食材を中心とした地域おこし活動等の実施	目　標	（　）	運営主体の発掘及び育成プログラムの実施	（　）	（　）
	実　績		未実施		
物件補償調査	目　標	（　）	（物件補償調査）	（　）	（　）
	実　績		物件補償調査		
用地･物件補償	目　標	（　）	（物件補償契約）	（　）	（　）
	実　績		物件補償契約		
農水産業振興拠点施設の整備に係る事業計画等の策定	目　標	（基本計画策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本計画策定			

達成状況説明：市民ワークショップ意見等を踏まえた施設運営方式検討の結果、公平性と競争性を担保するため公募を前提とした民間企業及び団体等による運営方式の採用が決定されたことから、当初予定していた生産者、事業者及び関係団体等で構成する市民ワークショップメンバーの中から、当施設運営主体を発掘･育成するための運営主体の発掘及び育成プログラムの実施を見直した。なお、当プログラムにかかる費用については業務委託料から減額し精算を行っている。その他の活動内容については計画どおり実施している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
農家･漁家などの参画による基本設計の策定	目　標	（　）	（　）	（基本設計の策定）	（　）	（　）
	実　績			基本設計の策定		
施設運営に関わる人材の発掘	目　標	（　）	（　）	（未設定）	（　）	（　）
	実　績			未実施		
物件補償	目　標	（　）	（　）	（2件）	（　）	（　）
	実　績			1件		
用地取得	目　標	（　）	（　）	（13,206㎡）	（　）	（　）
	実　績			10,327㎡		
農水産業振興拠点施設の整備に係る事業計画等の策定	目　標	（　）	（基本計画策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本計画策定			

進捗状況説明：
･4回のワークショップのなかで農家･漁家を含む140人の市民等参画による基本設計の策定をとおして、当事業に対する市民の関心度の高さを把握することができた。
･物件補償については、既存牛舎が構外再築後の移転･除却を要望したため、平成26年度予算での実施に見直したことで1件の執行実績となった。
･用地取得については、不動産鑑定評価の結果、当初見込んでいた取得単価が上昇したため全体取得面積13,206㎡のうち10,327㎡の執行実績となった。

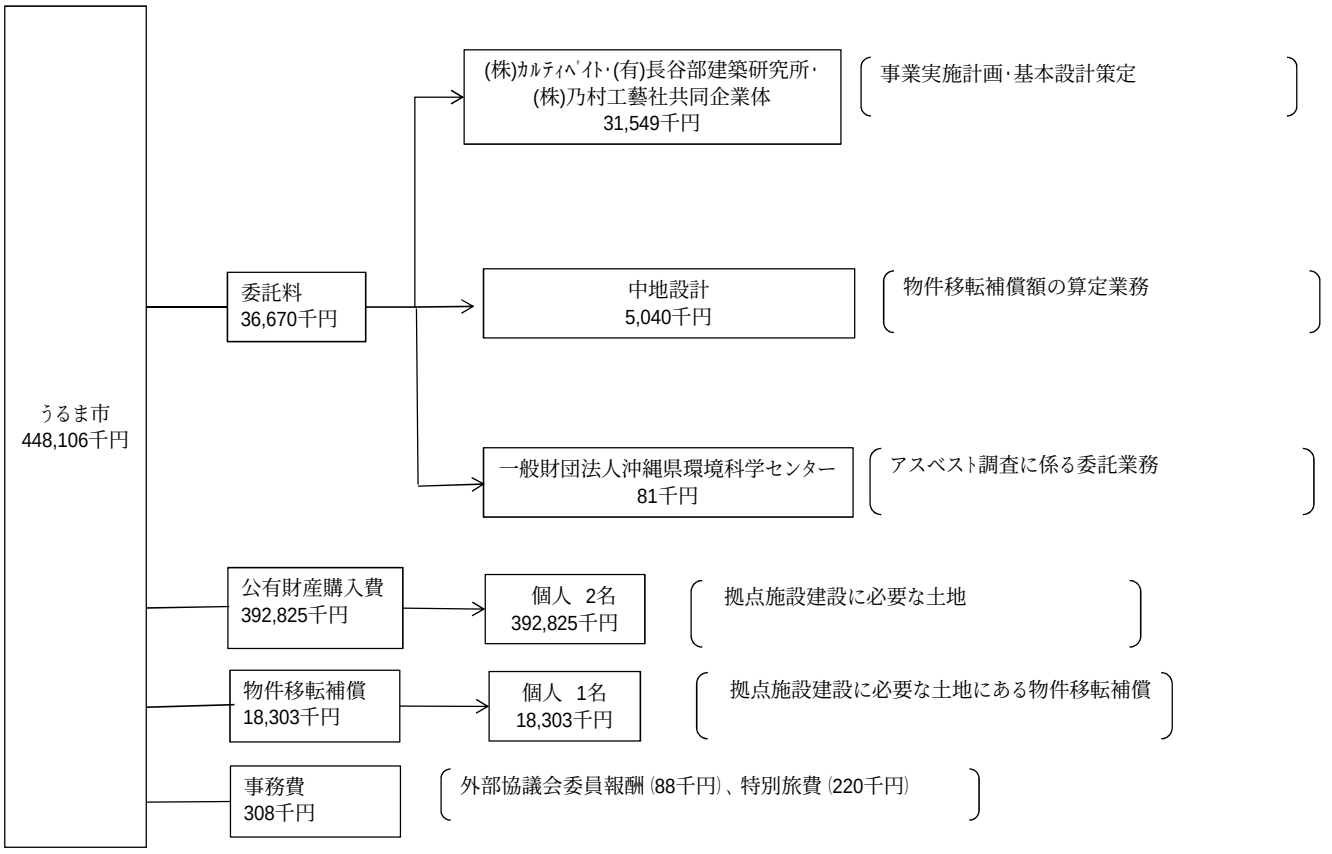
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当施設は直売所及び産直レストラン等における収益の一部を活用し、本市第一次産業の持続・発展的な振興に資する公益事業を展開するものである。 高い公益性を求める当施設の運営については、収益追求だけの指定管理者（運営者）では公益事業がおざなりになる可能性があり、収益が確保出来ない指定管理者（運営者）では公益事業に充てる費用が捻出出来ず、公益事業の充実が図られないことが懸念される。 このため、指定管理者公募要項・仕様書、選定基準の設定は重要課題である	公益事業の充実と収益の確保がバランス良く両立できる指定管理者を選定するための公募条件、選定基準等の策定を行う。

今後の取り組み方針

平成26年度：物件補償、用地取得及び建築詳細設計の実施、当施設の設置及び管理に関する条例の制定、指定管理者公募要項・仕様書（素案）の作成
平成27年度：条例施行規則の制定、指定管理者候補者の公募・選定、指定管理者の決定（市議会議決）
平成28年度：建築・外構工事の実施
平成29年度：施設供用開始

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
448,106	448,106	358,485	89,621	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は公募型プロポーザル方式、指名競争入札で委託契約しており妥当である。 ○委託業務の一部は地方自治法施行令、市契約規則を遵守し随意契約しており妥当である。 ○委託業務設計書、移転物件補償算定調査、不動産鑑定評価に基づく適正な予算規模である。 ○事業執行上、必要かつ不可分な費目・使途であり事業目的に限定した執行を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-①	きむたかこどもセンター建設事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	福祉部　児童家庭課	事業実施(予定)年度	平成２４年～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容	地域の中で安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを目指すために、地域特性を活かした伝統芸能･文化を基調とした施設整備を実施し、児童健全育成を図る。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	17,971	－	191,921	－	
	(b)予算現額	12,679	－	191,921	－	
	(c)増減額(b-a)	▲ 5,292	－	0	－	
	(d)繰越額	－	5,474	－	116,198	
	A. 計(b+d)	12,679	5,474	191,921	116,198	
B. 執行済額		6,411	3,720	75,270	106,202	
うち交付金充当額		5,128	2,976	60,216	84,961	
次年度繰越額		5,474	－	116,198	－	
執行率（%）(B/A)		50.6%	68.0%	39.2%	91.4%	

予算の状況の説明：不用額が9,996千円発生しているが、入札残等によるものであり、当初計画していた事業は実施した他、活動目標･成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
きむたかこどもセンター建設	目　標	設計業務等の実施	建設	（　）	（　）
	実　績	設計業務等の実施	建設工事･備品購入の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年度に建築設計業務、造成設計業務、地質調査業務を実施し、平成25年度に建築工事管理、造成工事施工管理、建築工事、機械工事、電気工事、備品購入を実施した。

構　造　:鉄筋コンクリート造　平屋建
延床面積:３６７．７１㎡
敷地面積:１,４５１．４５㎡

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
きむたかこどもセンター建設の完了	目　標	（　）	（　）	（建設の完了）	（　）	（　）
	実　績			1棟		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成26年度11月末で整備が完了し、平成26年12月から供用開始され、地域の中で安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを目指すために、地域特性を活かした伝統芸能･文化を基調とした施設として運営されている。

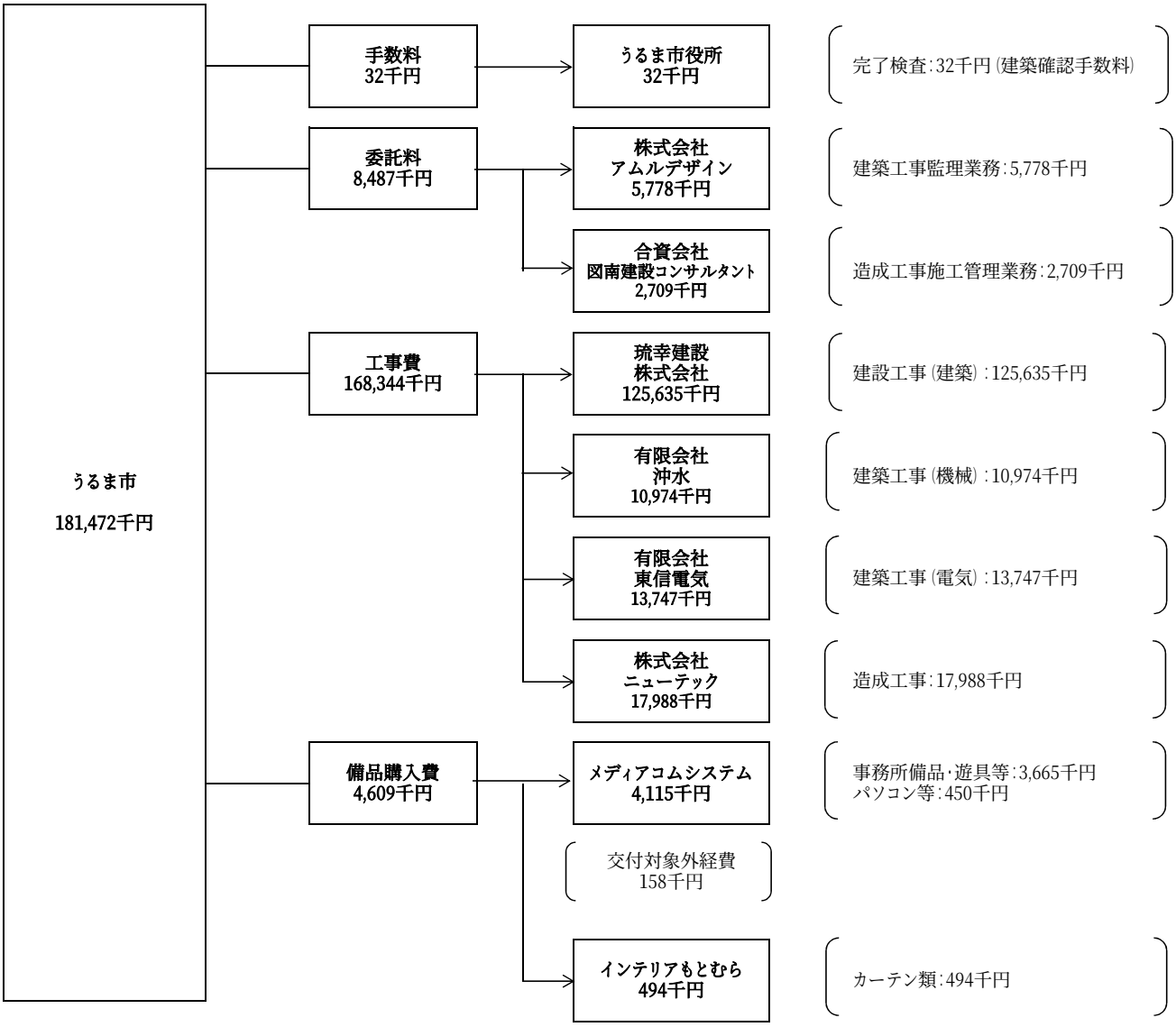
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当市では、勝連地域に「子どもの育成・子育て環境」等の施設がない為、その拠点となる「きむたかこどもセンター」の整備を行った。 建設地域が住宅に囲まれた場所であった為、造成工事発注後に並行して実施していた公共下水道工事について、地域住民との調整等に時間を要した。 施設の完成により、地域の子育ての拠点施設が確保されたことから、今後連携を密にし、児童健全育成に取り組んでいく。	戸別訪問や地域説明会等により地域との連携を図り、支障をきたさないよう配慮しながら工事施工を行った。

今後の取り組み方針

今後は、地域の中で安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを目指すために、地域特性を活かした伝統芸能・文化を基調とした健全育成が図られるよう、運営面において、連携を密にし取組んでいく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
181,630	181,472	145,177	36,295	158



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、市契約規則に基づき指名競争入札又は随意契約により決定しており適正と考えている。 ○予算規模について不用額9,996千円は入札残等によるものであり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、支出時の書類確認・決裁を経ており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-①	防災避難通路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　総務課	事業実施(予定)年度	平成２４年～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－(2)

事業内容

当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全･安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,996	－	51,371	－	
	(b)予算現額	12,996	－	48,060	－	
	(c)増減額(b-a)	0	－	▲ 3,311	－	
	(d)繰越額	－	12,996	－	36,024	
	A. 計(b+d)	12,996	12,996	48,060	36,024	
B. 執行済額		0	7,008	11,037	28,264	
うち交付金充当額		0	5,606	8,829	22,611	
次年度繰越額		12,996	－	36,024	－	
執行率（%）(B/A)		0.0%	53.9%	23.0%	78.5%	

予算の状況の説明

分筆測量業務を実施した際に、未相続の土地の権利関係者に対する追跡調査及び立会確認に日数を要したため繰越すこととなった。 また、7,760千円の不用額が発生したが、委託料や工事請負費の入札残等によるものであり、施工場所が離れている避難通路(4箇所)を一括で発注したため、低コストで当初計画していた事業内容は実施したほか、活動目標及び成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防災避難通路整備(3地区4路線)の実施	目　標	（設計業務の実施）	（整備の実施）	（　）	（　）
	実　績	設計業務の完了	用地買収及び建設工事の完了		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

防災避難通路の用地買収(10筆)及び建設工事(3地区4路線)を行った。用地買収においては、未相続などの課題があったため、4筆は購入することができなかったが、土地使用承諾を得て防災避難通路を整備することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
防災避難通路整備(3地区4路線)に係る用地買収及び建設工事の完了	目　標	（　）	（設計業務の実施）	（用地買収及び建設工事の完了）	（　）	（　）
	実　績		設計業務の完了	用地買収及び建設工事の完了		
避難通路の整備率	目　標	（　）	（　）	（40%）	（　）	（　）
	実　績			40%		

進捗状況説明

平成24年度は土地相続にかかる権利関係の課題があり事業が遅れたため、平成25年度は地元自治会等と協力して取り組むことで10筆の土地購入と4筆の土地使用承諾を得ることができた。
また、土地購入等が計画通り実施されたことにより、避難通路整備予定箇所5地区10路線のうち、3地区(浜地区、比嘉地区、屋慶名地区)に防災避難通路4路線を整備することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・防災避難通路を整備するにあたって土地相続にかかる権利関係者の追跡調査及び立会確認に不測の日数を要した。 ・防災避難通路整備箇所の周りは墓地や空き地などがあり、定期的な草刈りや清掃が必要になってくる。 ・災害が起きた際に活用できるよう、地域住民等に防災避難通路及び避難所を認識してもらう取り組みが必要となる。	・事業が円滑に進められるよう早めに地元自治会等と連携し、用地買収の交渉に取り組む必要がある。 ・防災避難通路の維持管理（草刈、清掃等）については、地元自治会が主体となって適切な管理ができるようにする。 ・今後、避難通路整備を予定している地区においては、地元自治会と連携をしながら周知活動を行い、当該事業の理解促進に努める。

今後の取り組み方針

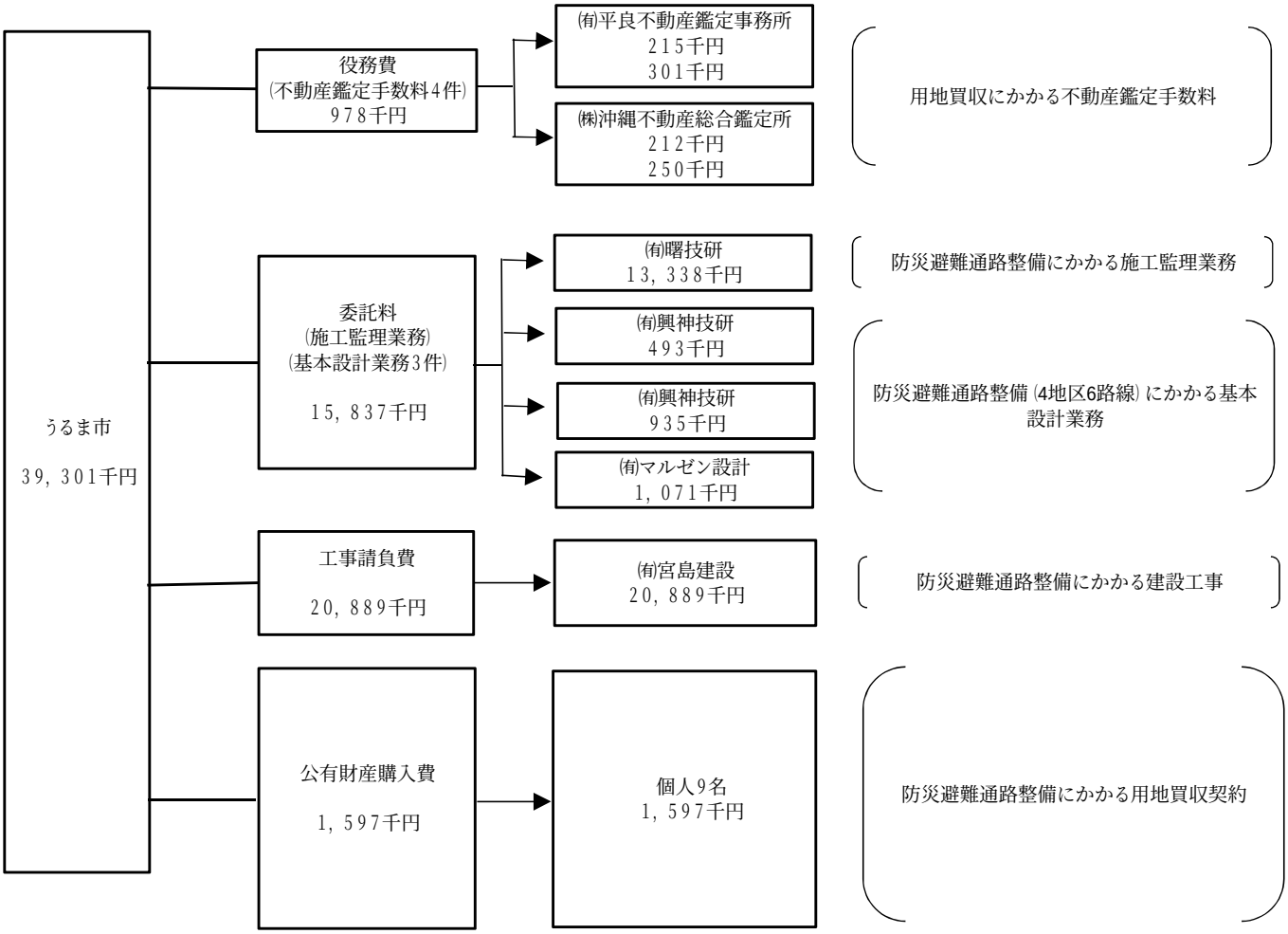
・残りの整備箇所においては、地元自治会と連携し用地買収の交渉に取り組み、防災避難通路整備事業が滞りなく実施できるよう努めていく。

・平成25年度事業として整備した防災避難通路の維持管理（草刈、清掃等）については、地元自治会が主体となって取り組んでいけるよう防災担当として積極的なサポートを行う。

・毎年、11月に実施している「市地震・津波防災訓練」で防災避難通路を利活用し、地域住民等に避難通路及び避難場所を周知することで災害時の安全・安心を確保する。また、訓練における個々の課題を検証しその解決に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,301	39,301	31,440	7,861	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、市契約規則基づき指名競争入札又は随意契約により決定しており適正と考えている。 ○予算規模は、概算積算書に基づくものであり、事業内容に見合った適正な予算規模だと考えている。 ○費目・使途については、契約事務等に関する書類により確認しており、適正な支出と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-③	防災倉庫等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　総務課	事業実施(予定)年度	平成２５～２９年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－(2)

事業内容

当市は沖縄本島中部東海岸に位置し東に金武湾、南に中城湾に接しているほか、東南に伸びる半島部の東方海上には有人5島があり、風光明媚な自然景観と観光資源が残されており観光客も多く訪れる。本事業は、大規模災害等に備え、市民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、市内に防災倉庫(防災資機材や備蓄食糧等を備蓄する。)を整備し防災活動基盤を構築する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	42,092	－			
	(b)予算現額	40,628	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 1,464	－			
	(d)繰越額	－	33,252			
	A. 計(b+d)	40,628	33,252			
B. 執行済額		7,376	27,468			
うち交付金充当額		5,900	21,974			
次年度繰越額		33,252	－			
執行率（%）(B/A)		18.2%	82.6%			

予算の状況の説明

倉庫設置箇所に埋蔵文化財が存在することが判明し、試掘調査を実施するなど不測の日数を要し、工事着手が遅れたことから年度内に事業を完了することが困難となったため、次年度に繰り越すことになった。　また、5,784千円の不用額が発生したが、委託料や工事請負費の入札残等によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
防災倉庫の整備	目　標	（5箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績	5箇所			
備蓄品の整備 非常用毛布 1,000枚 非常用タオル 1,000枚 備蓄食糧 10,000食 備蓄飲料水 10,000本	目　標	（備蓄品整備業務の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	備蓄品整備業務の完了			

達成状況説明

工事着手までに時間を要したが、設計業務、施工監理業務及び設置工事の実施により、島しょ地域に防災倉庫(5箇所)と備蓄品の整備を行い、目標を達成することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
防災倉庫の整備率:29%	目　標	（　）	（29%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		29%			
非常用毛布1,000枚の整備率：20% 非常用タオル1,000枚の整備率：20% 備蓄食糧10,000食の整備率：20% 備蓄飲料水10,000本の整備率：20%	目　標	（　）	（20%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		20%			

進捗状況説明

防災倉庫整備予定箇所17箇所のうち、5箇所を整備することができた。
また、成果目標に掲げた備蓄品の整備を実施し、目標を達成したことで、平常時における訓練等の活動が充実され、災害時においては住民及び観光客等の安心、安全の確保に寄与することが可能となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業は、大規模災害等に備え、市民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、市内に防災倉庫等を整備した。 倉庫設置箇所に埋蔵文化財が存在することが判明し、試掘調査を実施するなど不測の日数を要し、工事着手に遅れが生じた。 防災倉庫を整備する際は、災害時に利用する住民等の利便性等を考慮して、公有財産(用地)を中心に設置場所を選定する必要がある。 防災倉庫を整備した後の適切な管理が必要不可欠である。 災害が起きた際に活用できるよう、地域住民等に防災倉庫の設置について認識してもらう取り組みが必要となる。	事業が円滑に進められるよう地元自治会や教育委員会等と連携し、設置場所を検討する必要がある。 島しょ地域における防災倉庫の維持管理については、地元自治会が主体となって適切に管理できるようにする。 防災倉庫を整備した地区においては、地元自治会等と連携をしながら防災意識の高揚を図り、当該事業の理解促進に努める。

今後の取り組み方針

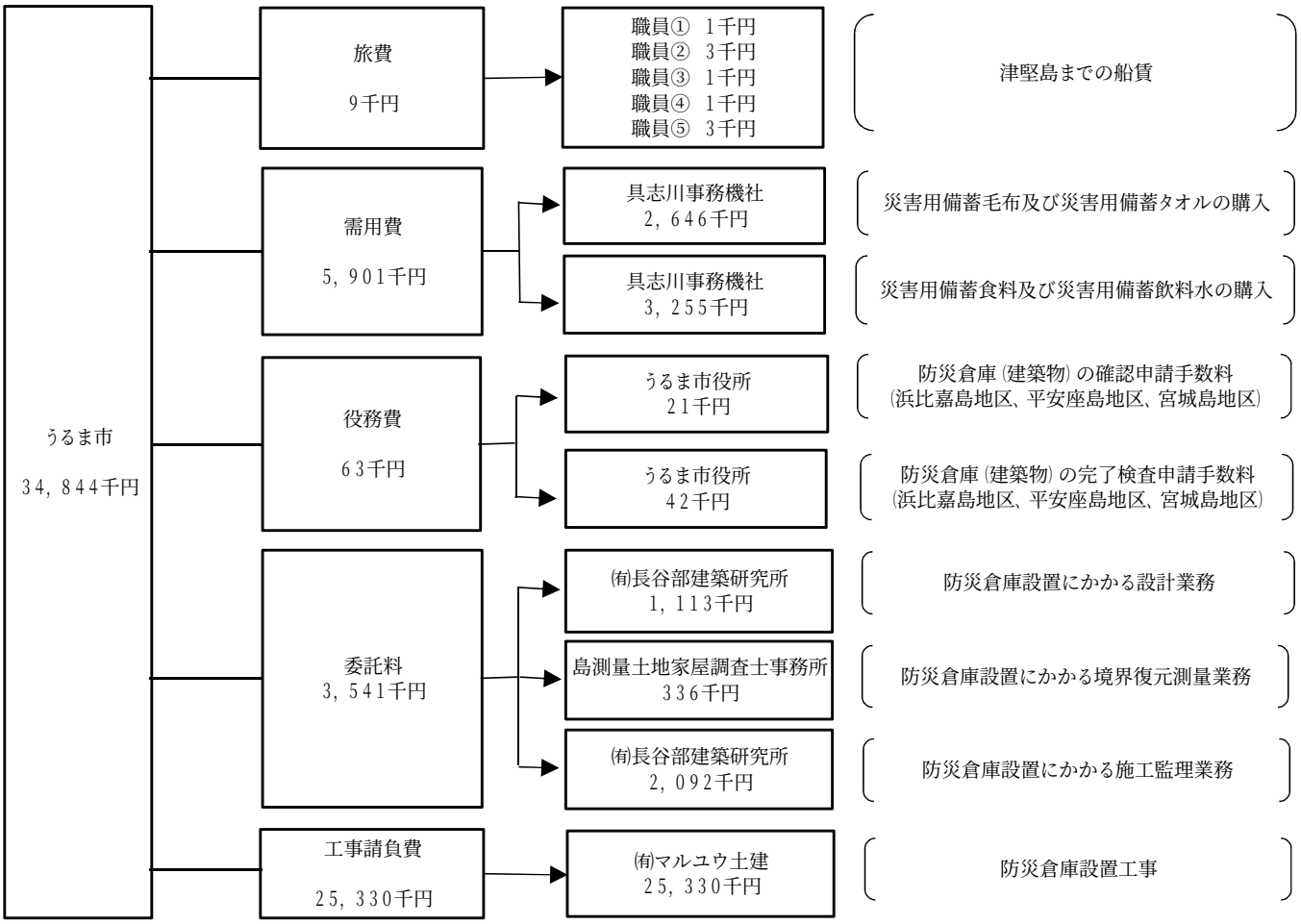
公有財産（用地）を中心に設置場所を検討し、適切な候補地がない場合は、自治会所有地への設置を検討し自治会と十分な調整を行う。

平成25年度事業として整備した防災倉庫の維持管理については、地元自治会が主体となって取り組んでいけるよう防災担当として積極的なサポートを行う。

防災倉庫を利活用した「防災訓練」を実施するなど、地域全体に周知することで災害時の安全･安心を確保する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
34,844	34,844	27,874	6,970	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、市契約規則基づき指名競争入札又は随意契約により決定しており適正と考えている。 ○予算規模は、概算積算書に基づくものであり、事業内容に見合った適正な予算規模だと考えている。 ○費目･使途については、契約事務等に関する書類により確認し、適正な支出と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	